

## Y28b 水素 21cm 波観測用の 2.3m 電波望遠鏡の立ち上げ

時政典孝（兵庫県立西はりま天文台）、川西浩陽（西はりま天文台公園友の会）、坂田裕之（兵庫県立大学附属高校）、前田耕一郎（兵庫医科大学）

我々は、西はりま天文台での天体観測実習の一環として電波観測を取り入れるために、2.3m 電波望遠鏡の立ち上げ作業を行っている。この電波望遠鏡（SRT: Small Radio Telescope）は、アメリカ・マサチューセッツ工科大学のヘイスタック天文台で教育用に開発されたものであり、キットとして CASSI Corp. より市販されている。SRT では水素 21cm 波を含む L-band での観測が行えるので、連続波によるマッピングや水素 21cm 波ラインでの観測が可能である。

我々は、2006 年はじめに SRT のキットを入手後、7 月より立ち上げ作業を開始し、現在、機器の調整と試験観測を行なっている。SRT での観測には、マイクロ波の知識、デジタル処理技術などに触れることができるので、様々な分野での教育に有用だと考えられる。また、昼間でも観測できるのが電波観測の利点である。SRT が完成すれば、高校生や一般市民の参加のもとに、天の川銀河のマップ作りや太陽電波の観測などに活かすとともに、研究用としても用いたい。発表では、SRT の仕様、立ち上げの様子、および試験観測の結果について報告する予定である。